



部会だより

コロイドおよび界面化学部会

部会入会のお誘い

部会の特色

コロイドおよび界面化学部会は発足から40年以上の長き伝統を有し、現在、会員数1000名ほどで活動しております。コロイド界面化学は一般的には物理化学分野に分類されますが、部会員の専門分野は物理化学だけでなく、高分子、触媒化学、電気化学、化学工学、物理系のソフトマターなど多岐にわたっています。このように当部会は分野横断型の学際領域の研究集団であり、まさに「学問間のインターフェース」を担える組織体です。したがって、日本化学会会員の多くの皆様の研究テーマと当部会との接点があると思いますので、部会への入会をご検討いただけましたら幸いです。

当部会の良さを知っていただける手始めとしては、部会の最も重要な活動である「コロイドおよび界面化学討論会」に参加して下さることです。例年の討論会は発表件数約450件、参加者約600名の規模で行っていますが、本年度は第70回記念大会として11月3～8日に沖縄で国際会議を開催します。国際会議のサイト (<http://www.okinawacoloids.jp/>) からセッション構成をご覧いただくと、ご専門と関連するテーマがあると思いますので、ご参加をお待ちしております。

企業研究者の活躍

当部会は様々な委員会を中心にして活

動していますが、各委員会は大学・公的機関の研究者と企業の研究者とのバランスを取りながら組織しています。ここでは、企業の研究者が活躍されている活動の一部をご紹介します。

当部会の特長の1つは、企業の研究者にも大いに活躍していただく「場」として企業研究者から構成された「企業委員会」があることです。企業委員会ではコロイド界面の最新動向を学ぶ「コロイド・界面技術者フォーラム」を企画しています。1泊2日の日程ですので、最新動向の理解を深めるだけでなく、講師の先生や参加者同士の親睦を深めることもできます。さらに、小学生高学年を対象とした「本物の理科体験学習—コロイド—」をコロイドおよび界面化学討論会の開催地で行っています。開催地は毎年違いますので準備が大変ですが、企業委員会委員のボランティア精神のおかげで「コロイド界面化学の普及活動」が継続できています。

事業企画委員会（委員：50名以上）でも多くの企業の方に加わっていただき、「コロイド先端技術講座」や産業界向けの「コロイド・界面技術シンポジウム」などの多くのセミナーを企画していただいています。さらに企業の若手社員を主な対象としたコロイド化学の基礎講座「界面コロイドラーニング」を東京と大阪の2会場で開催しています。

若手研究者の活躍の場

若手研究者の育成・活性化のためにいくつかの取り組みを積極的に行っています。例えば、若手ワーキンググループ(WG)では、「未来のコロイド界面化学を創る若手討論会」を開催し、最新研究の徹底討論を通じて視野を広めたり、異分野間の人的交流を図っています。またWGが中心となって討論会における「若手口頭講演賞」の表彰も行っています。さらに会誌 Colloid & Interface Communication を年4回発行しておりますが、その中に「Interface」として最新研究の紹介記事があります。若手口頭講演賞の受賞内容を含めて記事の多くは若手研究者の研究紹介で、若手研究者のアピールの「場」を提供しています。

以上、ご紹介しましたように、当部会では企業研究者や若手研究者の皆様が活躍できる「場」をいくつか設けております。またコロイドおよび界面化学分野で新しい科学・技術を作った、または作りつつある若手の研究者・技術者を称えるために科学奨励賞および技術奨励賞を設けております。ぜひ、当部会へ入会していろいろな「場」を有効に活用していただき、インターフェース領域の研究発展にご協力下さい。

〔部会長 河合武司（東京理科大学工学部）〕

© 2019 The Chemical Society of Japan